

息子をかたるオレオレ詐欺

犯人A（息子役）	犯人B（遺失物センター）・兼ナレーター	被害者
もしもし、今電話大丈夫？		
		はい？どちら様かしら？
あれ？誰かわかってない？		
		太郎だろ？少し声がおかしい気がするけど。
そうだよ。風邪引いちゃって喉がちょっとね（咳き込む）。		
（ナレーター） このように息子さんやお孫さんの名前を聞き出します。そのあとさらに・・・		
電車で会社の書類が入ったカバン無くしちゃってさ。駅に遺失届出したから、見つかったらそっちに連絡あると思う。		
		あらまあ、わかったよ。
携帯もカバンと一緒に無くしたから、つながらないよ。また、こっちからかけるからさ。		
（ナレーター） ここでいったん電話が切られますが、また電話がかかってきて・・・		
	もしもし、こちら駅の遺失物センターです。息子さんが無くしたカバンが届けられました。身分証が入っていて息子さんの物とわかりましたが、そのほかは空っぽです。	
		そうなんですか。わかりました。息子には伝えておきます。
（ナレーター） このあと 再び息子をかたる男から電話がかかってきて・・・		
もしもし、太郎だよ。駅から電話あった？		
		あったよ。カバン届いたけど、中身空っぽだったってさ。
えー！いや、それはまずいな。どうしよう。		
		あらどうしたの？
いやー、カバンの中に銀行手続きに必要な書類があつてさ。今日中に300万引き出せないと、会社に何千万という損害が出ちゃうんだよ。俺がくびになるくらいじゃ済まないよ。		
		あらまあ、それは大変じゃない。
母さん。先輩や上司も協力してくれると思うから100万円だけでいいから今日中に貸してもらえない？必ず返すから。		
（ナレーター） このような手口でだましてくるのがオレオレ詐欺です。		